

ATR訪問記

訪問先：ATR（株式会社 国際電気通信基礎技術研究所）

訪問日：平成20年7月25日

メンバー：スニーダーズ（竹内敏明氏・竹内修氏・田中良一氏・石田祐子）、
影木准子さん、元岡みさ子、梶川仁美

* ATR社長でありスニーードのメンバーである平田康夫氏のご好意により
訪問させていただき、以下のデモを見学しました。

＜ATRの会社概要についての詳細は <http://www.atr.co.jp/>>

1. 携帯電話が自動翻訳機に!!?

「音声翻訳システム」

・ 音声言語コミュニケーション研究所 主幹研究員 袋谷丈夫氏

1986年、「読み上げ文」を音声翻訳することから研究が始まり、1992年、「日常のはなし言葉」を音声翻訳すること発展させ、現在では「広い話題に適応」するように技術開発を進めています。日本語発話入力で音声認識結果を表示するシステムをNTTドコモFOMA 905iに搭載してサービスを開始。

携帯型多語音声翻訳機で実際に翻訳を試みせる影木准子さん



成田空港まで行きたいのですが。

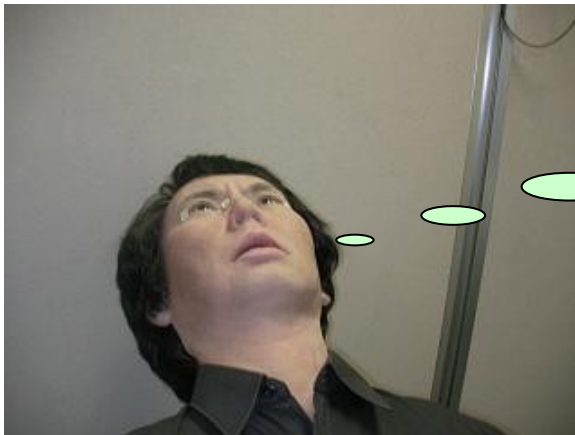
I would like to go to Narita
Airport.

I w o u l d l i k

2. アンドロイド石黒教授現れる

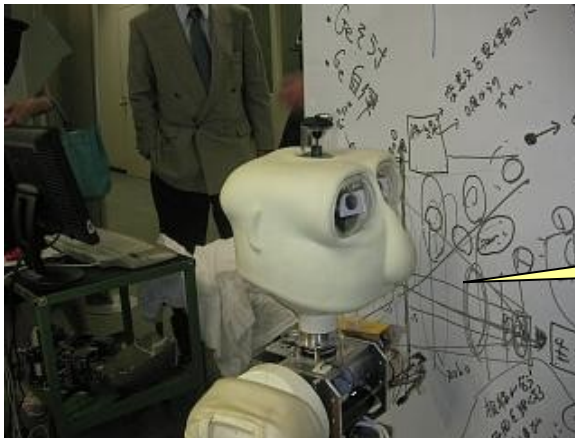
「ジェミノイド、ロボビーⅣ」についてのデモ

- ・ 知能ロボティクス研究所 所長 荻田紀博氏



石黒教授の貧乏揺すりま
で、コピーしちゃうよ。

未来の世界の人型ロボットです。開発したのは、CNNで「世界を変える8人の天才」に選ばれた石黒浩大阪大学教授。教授そっくりのアンドロイドを見せて頂きました。石黒教授は自分とそっくりのアンドロイドを作ることにより、自分との違いを調べより人間に近づける研究を進めています。



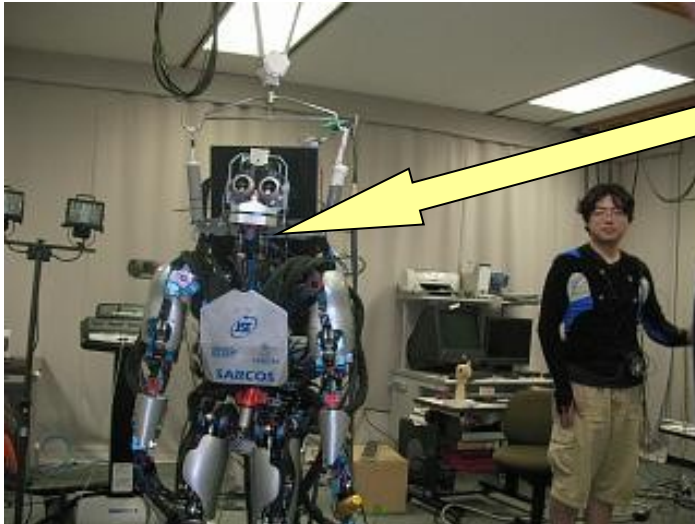
ボクハ、イチドアッタヒトノ
コトヲオボエテルヨ。

荻田所長のグループが開発した Robovie-IV。通常の生活のなかでの、人間とのコミュニケーション能力の向上を目指しています。困っている人を見つけたり、騒音の中で、サービス提供したりできます。

3. サルの脳とロボットを繋ぐ

「ヒューマノイドロボット」についてのデモ

- ・ 脳情報研究所 室長代理 Erhan Oztop 氏
研究員 Joshua Hale 氏



身長 155cm 体重 85kg

サルの大脳皮質活動の情報を、ネットワークを介して米国サルコス社製のヒューマノイドロボットに伝送（米国～日本間）リアルタイムでこのヒューマノイドロボに歩行させることに**世界で初めて成功！**人の脳がどのように行動を起こさせるかを解き明かす研究が急速に展開しています。

ロボットは米国サルコス社製 <http://www.sarcos.com/>

4. 触覚も伝送できる!!

「多感覚インターラクション」についてのデモ

- ・ 認知情報科学研究所 室長 安藤広志氏

映像や音声だけではなく、「触覚」情報を、人に違和感なく伝送・提示する技術の研究開発を進めています。国宝に触れた感触のバーチャルな再現や、医療分野のシミュレーションなどに応用できます。



何だかポニョポニョして
いて、気持ちいいな。

バーチャルなゴムボールの感触を楽しむ竹内修さん

5. ロボットROBOVIE販売中

「ATR成果展開のご紹介」

- ・ (株) ATR—Robotics 社長 高橋真知氏



大好評発売中

音声出力やアナログ入力などの機能により前進、後退や前後転、側転からダンス、サッカーと動きも豊富。ロボットが私たちの生活に入り込み、人間と共存する社会はそこまできている？

小型ヒューマノイドロボット組み立てキット Robovie - X 価格 94,500 円

(株) ATR-Promotions は、ATR—Robotics 社をはじめ、ATR 技術の事業展開のために、単独あるいは共同出資による子会社を設立しています。

訪問を終えて

- ・ 人との出会いを大切にしてこられた本多さんの偲ぶ会に出席する為に帰国されたロボットジャーナリスト影木准子さんが ATR 訪問に参加されたのはまるで本多さんが引き合わされたように思います。これからもスニーダーズのメンバーは出会いを大切に前進してまいります。（石田祐子）

影木さん HP <http://getrobo.typepad.com/getrobo/2008/08/atr-visit-part.html>

- ・ 人とコミュニケーションが取れるロボットや限りなく人間に近いジェミニノイドなど、想像の世界だと思っていた技術の実現が、近い将来であることを知り感銘を受けました。これらの技術が私たちの日常生活の中で、どのように実用化されていくのか、大変興味を持ちました。（元岡みさ子）
- ・ A T Rには、未来技術の SEED が沢山ありました。ロボットの開発には、コンピュータだけでなく、脳科学や心理学からのアプローチが必要です。この会社には様々な分野の優秀な専門家が集い、融合効果を発揮していました。（梶川仁美）



平田社長ありがとうございました。